

予算決算常任委員会 摘 録

1. 開催日 令和4年9月2日(金) 議場
2. 出席委員 五島誠委員長 谷口隆明副委員長 赤木忠徳 林高正 横路政之 宇江田豊彦
坂本義明 堀井秀昭 福山権二 徳永泰臣 政野太 桂藤和夫 藤木百合子 藤原洋二
吉川遂也 國利知史 松本みのり 前田智永 坪田朋人
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 花田讓二議会事務局長 横山和昭議会事務局議事調査係長 丸飯龍太議会事務局主任主事
5. 説明員 島田虎往総務部長 加藤武徳企画振興部長 福本敬夫財政課長 田部伸宏企画課長 黒木和彦農業振興課長 高浦光司財政課財政係長 安藤秀明企画課企画調整係長
6. 委員外議員 なし
7. 傍聴者 2名(うち議員 近藤久子議長)
8. 会議に付した事件
 - 1 付託議案(補正予算)
議案第107号 令和4年度庄原市一般会計補正予算(第5号)
 - 2 付託議案(決算認定)
議案第115号 令和3年度庄原市一般会計歳入歳出決算認定について
議案第116号 令和3年度庄原市住宅資金特別会計歳入歳出決算認定について
議案第117号 令和3年度庄原市歯科診療所特別会計歳入歳出決算認定について
議案第118号 令和3年度庄原市休日診療センター特別会計歳入歳出決算認定について
議案第119号 令和3年度庄原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第120号 令和3年度庄原市国民健康保険特別会計(直診勘定)歳入歳出決算認定について
議案第121号 令和3年度庄原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
議案第122号 令和3年度庄原市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第123号 令和3年度庄原市介護保険サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第124号 令和3年度庄原市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第125号 令和3年度庄原市浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第126号 令和3年度庄原市宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第127号 令和3年度庄原市水道事業会計決算認定について
議案第128号 令和3年度庄原市下水道事業会計決算認定について
議案第129号 令和3年度庄原市国民健康保険病院事業会計決算認定について
議案第130号 令和3年度庄原市比和財産区特別会計歳入歳出決算認定について

午後2時40分 開 議

○五島誠委員長 これより予算決算常任委員会を開会いたします。ただいまの出席委員は19名であります。よって、直ちに本日の会議を開きます。本日の会議におきまして、傍聴、写真撮影、録音、録

画を許可いたしております。

1 付託議案（補正予算）

議案第 107 号 令和 4 年度庄原市一般会計補正予算（第 5 号）

- 五島誠委員長 議案第 107 号、令和 4 年度庄原市一般会計補正予算第 5 号を議題といたします。執行者からの説明を求めます。総務部長。
- 島田虎往総務部長 本会議におきまして上程いたしました一般会計補正予算第 5 号につきまして御審議をいただきますので、よろしく願いいたします。総括的な説明につきましては、既に本会議で行っておりますので、事業の詳細について担当課から説明させていただきます。よろしく願いいたします。
- 五島誠委員長 農業振興課長。
- 黒木和彦農業振興課長 それでは庄原市一般会計補正予算第 5 号の概要について御説明いたします。補正資料予算の 10、11 ページをお開きください。6 款 1 項 4 目、畜産振興費、01、畜産振興事業につきましては、原油価格・物価高騰の影響に対する経済対策として、畜産農家支援のための給付金に要する経費 5,708 万 5,000 円を追加計上するものでございます。内容につきましては、説明資料にて説明を申し上げますので、別紙の説明資料、原油価格・物価高騰の影響に対する追加経済対策についてをごらんください。まず、趣旨でございますが、ロシアのウクライナ侵攻、円安などによって、海外産の飼料価格が上昇しております。これによって、市内の畜産経営体に甚大な影響を与えているという中で、これまで価格安定制度や県の支援策の動向を注視してまいりましたが、実施を発表されました。これらの支援策を勘案した後、さらに市の独自支援が必要と判断したため、今回計上させていただいたものでございます。事業の概要でございますが、表の中ほどになります。対象者は、市内に住所を有する畜産経営体で 1 トン以上の配合飼料等を購入した者としております。②の支援額につきましては、配合飼料、粗飼料ともに対象にしておりまして、1 トン当たり 5,000 円として、上限額を 200 万円といたしました。それから、③対象期間は、今年度の購入に対して支援するということになりまして、令和 4 年 4 月から令和 5 年 3 月までを対象期間といたします。予算は、和牛、乳牛、養豚、養鶏の約 200 経営体を対象に 1 万 1,417 トンの飼料の購入を勘案し、計上しております。なお、支払いに関しましては、急激な飼料価格の上昇ということがありまして、農家の経営状況、それから農家の声を聞きまして、できるだけ早い時期に支援金の支払いが必要と判断いたしました。このため、支援金を 4 カ月ごとの 3 期に分けて支給するというので、御議決賜りましたら、4 月から 7 月の飼料購入量に対して、申請受付を早急に行いたいと考えております。今月中には最初の支払いを行っていきたいと考えております。説明は以上でございます。御審議のほどよろしく願いいたします。
- 五島誠委員長 これより質疑に入ります。ただいまの説明について質疑があれば許します。質疑はありませんか。横路委員。
- 横路政之委員 現状で大変困っている方が相当数おられる中で、一刻も早く申請したいというお考えの方がおられると思うのですが、そういった方たちへの周知は、対象者に対して個別にやられるのでしょうか。それともホームページで広く、気づいた方が申請という形をとられるのでしょうか。
- 五島誠委員長 答弁。農業振興課長。

- 黒木和彦農業振興課長 早急にとっておりますので、個別に通知をさせてもらうように、御議決いただきましたら、すぐ出せるように既に準備を進めておりますので、きょうもし決まりましたら、すぐにも農家さん個別に案内をしたいと考えております。
- 五島誠委員長 他にありませんか。吉川委員。
- 吉川遂也委員 引き続き早急な対応ありがとうございます。この対象となる配合飼料、粗飼料についてですけれども、配合飼料は販売しているもので問題ないと思うのですが、粗飼料については、輸入乾牧草等に限定されるということだと思っておりますが、書き方として、例えば、乾牧草の休耕田でつくったものを他社から購入したというようなものも紛らわしくなってくると思いますので、広酪で販売しているものであるとかというような限定をつけられたほうがわかりやすいかと思っておりますので、恐らくそういうことだろうとは思いますが、その辺を詳しく説明いただいて、対応についてお願いしたいと思います。
- 五島誠委員長 答弁。農業振興課長。
- 黒木和彦農業振興課長 案内へそういった自給飼料的なものは対象にしないということで記載するようにしておりますので、そこらの区別は、販売されているところも含めて、紛らわしくないように整理したいと思います。
- 五島誠委員長 他にありませんか。宇江田委員。
- 宇江田豊彦委員 まず5,000円という価格が適当なのかどうなのか。飼料1トン当たりの価格に対して何%ぐらいの補助に当たるのかということをお伺いしたい。それからそれぞれの関係農家がどれだけあるのかということについてお伺いしておきたいと思っております。
- 五島誠委員長 答弁。農業振興課長。
- 黒木和彦農業振興課長 まず5,000円の根拠でございます。他の自治体の支援も参考にさせていただきます。庄原市では、4月以降の高騰幅を昨年の価格と比較をしまして、安定基金からの交付金がございます。それから県の支援が発表されております。そういったところを差し引きまして、実際の農家負担の上昇分に対して2分の1という考え方で金額を出させてもらっています。それから農家が対象で、若干個別に計算したりもしているのですが、和牛で言いますと、繁殖農家が165戸、それから肥育農家が2戸、酪農の農家が24戸、養豚が3戸、養鶏が7戸と、企業経営的なところも含めての話になります。
- 五島誠委員長 他にありませんか。前田委員。
- 前田智永委員 早急に対応したいということで、4月から7月分はすぐに対応いただけることなのですが、2期、3期目の対応について同じように通知でされるのか。もしくはこれで出してくださいと、どういう体制でされるのか、もしお考えがあればお伺いしたいです。
- 五島誠委員長 答弁。農業振興課長。
- 黒木和彦農業振興課長 まず、今回送る案内で、もう既に分けて記載をするように様式を送りますので、1期目、2期目、3期目と言えば、それぞれお忘れがないように申請をされるという認識で進めたいと思っております。
- 五島誠委員長 他にありませんか。福山委員。
- 福山権二委員 この予算については賛成ですが、飼料の高騰によって、それを補填するということなのですが、ほかの農業で、例えば、野菜をつくって出荷していると。そういうときには飼料では

なく肥料という分野があると思うのですが、最近、肥料について補助金があると聞いておりますけれど、5人で1グループという話もあったり、難しいのですけれど、このように野菜についても、飼料ではなくて肥料も当然高騰するので、その対策は、同時進行はあるのかどうか。

○五島誠委員長 答弁。農業振興課長。

○黒木和彦農業振興課長 肥料という御質問でございますが、先ほど少しお話ししましたが、国の制度が最近打ち出されまして、内容について、つい先般、説明を受けました。概要につきましては、今打ち出された中では、窓口がJAあるいは民間の飼料会社というようなところになると。もう少し幅があるので、そういった中で今から動きますので、もちろん農家さんへの周知も含めて、市がするもの、それからJAがするもの、それから飼料会社がするものという整理を今からしていかなければいけないと思います。またそれぞれ周知をするという流れになっております。

○五島誠委員長 他にありませんか。政野委員。

○政野太委員 歳入のことを聞いておきたいのですけれど、財源繰越金からということで、一般財源からということになっておりますけれども、これは例えば、国から新たな経済対策の費用が来るということも聞いておりますけれども、そういった振りかえは可能なのですか。

○五島誠委員長 答弁。企画課長。

○田部伸宏企画課長 委員のおっしゃるとおり、今後の国の経済対策も予定されております。先般8月15日には岸田首相も臨時交付金の増額を指示したというようなことも出ておりますので、そういったものにつきましては、今後もやはり高騰分として交付がされると見込んでおりますので、その際の市内の状況も含めて、包括的な経済対策の中で財源振替も考えていきたいと考えております。

○五島誠委員長 政野委員。

○政野太委員 その際には一応説明をいただけたらと思っても大丈夫ですか。

○五島誠委員長 答弁。企画課長。

○田部伸宏企画課長 その場合には、また新たな補正予算等組んでいくような形になると思いますので、御説明をさせていただく形になると考えております。

○五島誠委員長 他にありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○五島誠委員長 なしと認め、質疑を終結いたします。執行者は御退席ください。

〔執行者 退席〕

○五島誠委員長 それでは採決を行います。議案第107号を採決いたします。お諮りします。本案の賛否について、投票ボタンを押してください。

〔投票〕

○五島誠委員長 投票を終了いたします。投票結果を報告します。投票総数18人、賛成18人。以上のとおり賛成全員であります。よって、議案第107号は原案のとおり可決すべきものと決しました。この場合、お諮りいたします。本会議における本委員会の審査報告の取りまとめについては、正副委員長に御一任いただきたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○五島誠委員長 異議なしと認めます。よって、そのように取り扱います。この際、暫時休憩いたします。再開は、本日の本会議散会后といたします。

午後 2 時 53 分 休 憩

午後 3 時 20 分 再 開

○五島誠委員長 休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

2 付託議案（決算認定）

- 議案第 115 号 令和 3 年度庄原市一般会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 116 号 令和 3 年度庄原市住宅資金特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 117 号 令和 3 年度庄原市歯科診療所特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 118 号 令和 3 年度庄原市休日診療センター特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 119 号 令和 3 年度庄原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 120 号 令和 3 年度庄原市国民健康保険特別会計（直診勘定）歳入歳出決算認定について
- 議案第 121 号 令和 3 年度庄原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 122 号 令和 3 年度庄原市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 123 号 令和 3 年度庄原市介護保険サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 124 号 令和 3 年度庄原市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 125 号 令和 3 年度庄原市浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 126 号 令和 3 年度庄原市宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 127 号 令和 3 年度庄原市水道事業会計決算認定について
- 議案第 128 号 令和 3 年度庄原市下水道事業会計決算認定について
- 議案第 129 号 令和 3 年度庄原市国民健康保険病院事業会計決算認定について
- 議案第 130 号 令和 3 年度庄原市比和財産区特別会計歳入歳出決算認定について

○五島誠委員長 本委員会の付託案件について、議案第 115 号、令和 3 年度庄原市一般会計歳入歳出決算認定の件から議案第 130 号、令和 3 年度庄原市比和財産区特別会計歳入歳出決算認定の件までを一括審査することといたします。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○五島誠委員長 異議なしと認めます。よって、そのように決定をいたします。審査の方法については、常任委員会の所管事務の例による区分により、分科会において審査することを 8 月 10 日の本委員会で確認しておりますので、本日は説明を受け、全体質疑のみを行います。9 月 5 日以降の分科会日程については、配付資料のとおりで予定しております。執行者より説明を受けます。総務部長。

○島田虎往総務部長 このたびは、議案第 115 号、令和 3 年度庄原市一般会計歳入歳出決算認定から議案第 130 号、令和 3 年度庄原市比和財産区特別会計歳入歳出決算認定までの合計 16 会計の決算認定につきまして御審議をいただきますので、よろしくお願いたします。内容につきましては、決算審査参考資料①令和 3 年度決算の概要により財政課長から総括的な説明をさせますので、よろしくお願いたします。

○五島誠委員長 財政課長。

○福本敬夫財政課長 それでは参考資料①令和3年度決算の概要と決算審査参考資料②令和3年度市町村普通会計決算カード、この2つの資料によりまして、決算の概要について御説明をいたします。まずは、令和3年度決算の概要、1ページをごらんください。先ほどの市長の説明と重複する部分がございますが、御了承いただければと思います。令和3年度一般会計決算の状況につきましては、歳入が356億7,217万円、歳出が340億9,734万円で、翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支は12億4,399万円となりました。なお、普通会計での決算概要でございますが、もう一部の参考資料②決算カードをごらんください。この普通会計につきましては、総務省において、他の団体と比較が可能となるよう統一基準を設けておりまして、庄原市の普通会計におきましては、2ページをお開きいただきまして、中段でございますように、一般会計と住宅資金特別会計、歯科診療所特別会計、休日診療センター特別会計を合わせたものから歳入歳出の繰り出し、繰り入れの重複分を控除したもので、普通会計ベースとしております。これによりまして普通会計における単年度収支でございますが、2ページの上段6に記載しておりますように、7億5,104万9,000円の黒字でございます。また、10の実質単年度収支でございますが、11億8,402万6,000円ということで、大幅な黒字となっております。それでは決算の概要に戻っていただきまして、2ページ、市債の発行額につきましては、発行額全体で43億7,622万円と、前年と比較しますと、かんぼの郷取得事業や東城支所の空調更新整備、庄原自治振興センター大規模改修事業等の実施によりまして、2億8,178万円の増額となっております。実質公債費比率につきましては、最下段の表にございますように11.0%で、0.9%改善されたところでございます。続きまして3、4ページをごらんください。歳入決算の概要につきましては、重立ったもののみ御説明いたします。①の市税につきましては、後ほど御説明いたします。②各種交付金は、地方消費税交付金や法人事業税交付金の増額によりまして、前年比1億266万円増の10億1,214万円となっております。④の地方交付税につきましては、後ほど御説明いたします。⑤国庫支出金ですが、特別定額給付金給付事業補助金の皆減などによりまして、34億3,855万円減の49億2,395万円となっております。⑥県支出金は、各種選挙費や地域医療介護総合確保事業補助金などの増額により、1億928万円増の33億7,661万円となっております。⑦の繰入金は、市債の繰上償還に充てるための減債基金の取り崩しや地域振興基金の取り崩しによりまして、1億8,579万円増の9億179万円となっております。⑨市債につきましては、先ほど説明いたしましたように、各種事業の実施によりまして、2億8,178万円増の43億7,622万円となっております。続きまして、5ページをごらんください。市税の状況につきましては、御説明いたします。まず、個人市民税は、新型コロナウイルス感染症の影響などによりまして、前年比1,045万円減少いたしました。法人市民税につきましては、製造業、建設業等の業績回復によりまして、1,572万円の増額となっております。市民税全体では、527万円増となっております。固定資産税につきましては、3年に一度行います評価がえに伴い減収いたしまして、807万円の減となりましたが、市たばこ税が1,099万円の増額となるなど、市税全体では、617万円増の37億9,598万円となっております。続きまして、6ページ、地方交付税につきましては、普通交付税が、地域デジタル社会推進費の新設など、基準財政需要額の増加に加えまして、交付税財源となります国税の増収に伴う追加交付によりまして、7億5,844万円増の124億5,994万円。特別交付税は、令和3年7月豪雨災害や除雪事業にかかわる交付金の増額などによりまして、1億9,629万円増の21億4,640万円となりまして、地方交付税全体では9億5,474万円増の146億634万円となっ

ております。(4) 臨時財政対策債につきましては、交付税総額が不足する場合に不足額を補填するための地方債でありますけれども、普通交付税の追加交付等によりまして、指名された枠を下回る発行としたことによりまして、前年比5,413万円減の4億7,772万円の発行となっております。続きまして、7、8ページをごらんください。歳出決算の概要につきまして、重立ったもののみ御説明いたします。②総務費は、特別定額給付金給付事業や交通交流施設整備事業の皆減などによりまして、31億489万円減の35億219万円となっております。③民生費は、住民税非課税世帯等臨時特別給付事業や子育て世帯臨時特別給付事業の皆増などによりまして、7億6,876万円増の81億529万円となっております。④衛生費は、新型コロナウイルスワクチン接種事業や斎場整備事業の増、新焼却施設整備事業に要する経費など、5,198万円増の42億5,051万円となっております。⑥農林水産業費は、小規模農業基盤整備事業や合板・製材生産性強化対策事業の減額などによりまして、3,279万円減の22億9,404万円となっております。⑦商工費は、かんぼの郷施設取得等事業やキャッシュレス決済導入支援事業などの増額によりまして、2億9,389万円増の13億2,010万円となっております。⑧土木費は、土地区画整理事業や都市公園管理事業の減額などによりまして、3億8,951万円減の26億8,032万円となっております。⑩教育費は、市民会館整備事業や社会体育施設管理事業の増額などによりまして、9,705万円増の22億5,623万円となっております。⑪災害復旧費は、過年公共災害復旧事業や現年公立学校施設災害復旧事業、過年農業用施設災害復旧事業などの増額によりまして、4億4,456万円増の31億856万円となっております。⑫公債費は、斎場整備事業等の大規模事業の元金償還が開始されたことや、2.6億円の繰上償還などの措置によりまして、3億6,382万円増の45億6,831万円となっております。続きまして、9ページをごらんください。歳出決算額の性質別のものについて、改めて簡単に御説明いたします。②の物件費につきましては、新型コロナウイルスワクチン接種の実施による1億5,247万円の増などはありましたが、小・中学校で使用するタブレット端末整備の完了や、予防接種等に係る委託料の減などによりまして、物件費全体では、4,901万円減の42億537万円となっております。④の扶助費ですが、子育て世帯臨時特別給付事業や、住民税非課税世帯等臨時特別給付金の皆増などにより、8億4,466万円増の45億9,999万円となっております。⑤の補助費等は、キャッシュレス決済導入支援事業の1億6,804万円増などがありましたが、特別定額給付金給付事業の皆減などによりまして、補助費全体では、33億4,218万円減の49億9,716万円となっております。⑥の普通建設事業費は、市民会館及び庄原自治振興センター大規模改修事業や、かんぼの郷施設取得等事業などの増額によりまして、1億2,335万円増の52億385万円となっております。⑦の災害復旧事業費ですが、4億4,511万円増の31億954万円。⑧公債費につきましては、3億6,397万円増の45億6,831万円となっております。続きまして、11、12ページでございますが、市民1人当たりの決算状況について記載しております。お読み取りをいただければと思います。続きまして、13ページ、上段では、市民1人当たりの市債残高を記載しております。中段以下で、参考資料といたしまして、新型コロナウイルス感染症対策等の実施状況を記載しております。事業区分ごとに主な事業内容を記載しておりまして、事業総額は18億3,432万8,000円となっております。14ページにつきましては、地方消費税交付金の増収分の使途を記載いたしております。15ページでは、森林環境譲与税の使途を記載しております。続きまして、16ページは、11の特別会計決算の概要について記載しておりますが、いずれも収支均衡、または黒字決算となっております。この中で、国民健康保険特別会計では、実質収支が3,038万9,000円となっておりますが、これにつきましては、国、県の交付金等

の精算に伴う返納金が約700万円、保健事業等の取り組み状況に応じて交付されます特別交付金など、純繰越金に当たるものが約2,300万円となっております。介護保険特別会計では、1億6,986万4,000円の実質収支となっておりますが、国、県支払基金の交付金等の精算に伴う返納金が約5,300万円、介護保険料やコロナ禍の影響で、居宅サービスの受給者が減少となったことなどによりまして、純繰越金に当たるものが約1億1,600万円となっております。公営企業会計の概要につきましては、水道事業では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業者の臨時休業等に伴い、水道使用料の減などにより、事業収益等は減少したものの、経常利益は5,919万3,000円となっております。病院事業では、外来、入院患者数は減少いたしました。新型コロナワクチン接種の実施や訪問看護ステーション及びデイサービスの利用者の増加による診療収入の増加などによりまして、経常利益は1億4,927万5,000円となっております。比和財産区特別会計の決算状況は表のとおりでございます。続きまして、17ページでは、各種基金残高の状況を記載いたしております。最後になりますが、18ページは、普通会計における性質別・目的別の決算額について記載しております。決算の概要につきましてはの説明は、以上でございます。

○五島誠委員長 ただいまの説明について質疑があれば許します。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○五島誠委員長 質疑なしと認めます。以降の審査は分科会で行うものといたします。これに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○五島誠委員長 異議なしと認めます。本日は、これもちまして散会いたします。ありがとうございました。

午後3時36分 散 会

庄原市議会委員会条例第30条の規定により、ここに署名する。

予算決算常任委員会

委員長